

マドリッド通信

在スペイン日本国大使館附属
マドリッド日本人学校
文責 堀内正樹
令和元年9月4日 No. 6

今日から2学期

この夏休みは、いろいろなことに挑戦し自分を広げることができたでしょうか。久しぶりに会った子どもたちの様子から成長を感じています。

さて、2学期が始まりました。

この時期は、人が活動することに最も適した気候となるため「読書の秋、スポーツの秋」また「食欲の秋」と言われます。

学校生活においては「文化祭、社会見学、福祉体験」などたくさんの活動が計画されています。どの活動にも児童生徒が積極的に取り組みよい経験をしてくれるものと期待しています。

さて、日本では4月に行われた「全国学力学習状況調査」の結果が7月末に公表されました。この調査は、児童生徒が習得した「知識」を活用する力を身に付けているか、児童生徒の生活習慣等と学力はどのような関係があるかを調査し、今後の我々の指導に生かしていくことがねらいです。

今回の調査から「知識の活用」については、「理解力はあるのに活用力や表現力を生かすのが苦手、例えば「資料の中から必要な情報を取り出すことはできているが、それを分かりやすく書くことが苦手」、「単語や文法などの知識は身につけているが活用することが苦手」という課題があることが分かりました。生活との関わりの調査からは、朝食をきちんと生活習慣が身に付いていたり、人の役に立つ人になりたいと考える児童生徒は平均正答率が高いことが言えるそうです。

今回の学力調査で今後さらに向上させたい力は、2学期のいろいろな活動を通してtw付けていくことができると考えます。まずは生活習慣を整え元気に登校すること。そして、それぞれの行事を成功させるために自分に与えられた役割に一生懸命取り組むよう励まします。また、発表や表現をする際には、今までに習得した知識を生かして、内容を自分の言葉で理解し、相手にわかりやすく伝えるための工夫をする場面を設けます。

学校での特別活動や行事への取り組みで、児童生徒が今まで習得した知識を十分活用できるように期待しています。



9月の予定

1	日	
2	月	2学期始業式
3	火	夏休み作品展(~15日) 全校集会
4	水	ランチ
5	木	
6	金	英検申込×切 部活動
7	土	
8	日	第2回実力テスト
9	月	
10	火	中学基礎コン(計算)
11	水	ランチ
12	木	
13	金	漢検申込×切 部活動
14	土	
15	日	家族参観日 12:45 下校
16	月	振替休業日
17	火	
18	水	ランチ
19	木	
20	金	中学部補充学習会 部活動(小学部のみ)
21	土	
22	日	
23	月	中学部補充学習会
24	火	中学部補充学習会
25	水	中学部補充学習会 避難訓練(火災) ランチ
26	木	中学部中間テスト①
27	金	中学部中間テスト② 部活動
28	土	
29	日	
30	月	



2学期の予定

- 家族参観日 9月15日
- 中学部中間テスト 9月26, 27日
- 英語検定 10月6日
- 漢字検定 10月20日
- 文化祭 10月27日
- 社会見学 11月14日
- 学校公開週間 11月11, 12, 13日
- 中学部期末テスト 11月21, 22日
- 小学部福祉施設訪問 12月2日
- 終業式 12月24日



夏休み作品展

子どもたちが夏休みに主体的に取り組んだ作品の数々を展示する「夏休み作品展」本館ホールにて開催しております。

工作、絵画、刺繍、社会・科学研究、夏休み体験レポートなど、出来映えもさることながら、研究や製作の過程での努力を感じさせるすばらしい作品ばかりです。

9月15日まで開催しておりますので是非お立ち寄り頂き、ご覧いただければ幸いです。

写真にていくつかの作品を紹介致します。



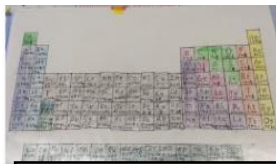
小学部ミニチュアの製作



小学部夏の思い出：絵画



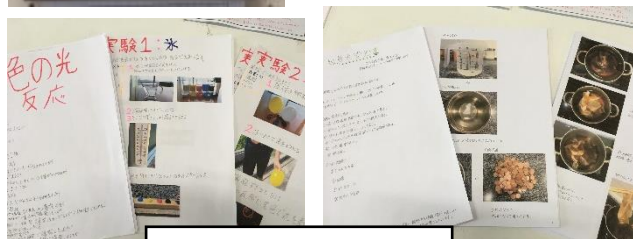
小学部工作



小学部社会・科学研究



小中学部手芸作品



中学部理科自由研究

派遣教員のつぶやき

ならではの良さ

矢野 愛依

海外旅行もしたことがなかった私が、マドリッド日本人学校に赴任して5ヶ月が経ちました。1学期は、教わったり助けてもらったりすることが本当に多く、人に恵まれていることに常に感謝した日々でした。その中で、この1学期で心に残ったことを書こうと思います。

赴任後間もなく、小学部生活科で五月人形を飾ることになりました。なんとか飾り付けが終わり、それぞれが新聞紙で作った兜をかぶって五月人形の前でポーズを取ろうとした時、突然、ある児童が段に飾られた刀を抜いて格好良く構えました…。そうなるともう大変です。それを真似てポーズを取りたくなった彼らは、次は自分だ！と主張を繰り返し、私からの「はい、順番ね！」という一言に、今度は順番を巡って主張をしあうという事態に…。最終的には全員仲良く写真に収まってくれたので一安心でしたが、目の前で繰り広げられるそのエネルギーの放出量にひたすら圧倒されました。

今思えば、中学生だと“それじゃあ他のものを持ってポーズをとってみようかな”という代替案を考えたり、“自分から待つ”ことができる時間の感覚があったりして、このような事態になることはほぼありません。だからでしょうか、私にとって小学生の「今、この瞬間にける思いと行動力」が、新鮮に感じられた一コマとなりました。

また、行事と言えば七夕集会や盆踊り大会等もありました。そこでは、小学部高学年や中学部が全体をうまくリードして、みんなが楽しく参加できるように声かけをしたり、仲間と協力してゲームを企画するなど盛り上げたりしていました。こういった行事を通して感じたのは、小・中合同の良さです。高学年の児童・生徒は、年下の児童がいることでお兄さん・お姉さんとしての自覚や、しっかりと観察して公平に見る目が育っているように感じます。また、小学部の子どもたちはそのような安心できる環境の中で、伸び伸びと学んでいるように思います。

マドリッド日本人学校では、様々な行事を通して相手に分かる言葉で伝えようとする姿勢や周りに優しく接することが、連続と受け継がれているように感じています。この学校ならではの良さをこれからも続けていってほしいなと思います。

